

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					R1取組内容	R2以降取組内容	取組に向けた課題
					H28	H29	H30	R1	R2			
ハード対策の 主な取組	■洪水を河川内で安全に流す対策	堤防整備(幌糠地区)	留萌開発建設部	~令和2年度	■	■	■	■	■		○堤防整備等を実施(留萌開発建設部)	
		河道掘削(留萌市街地区)	留萌開発建設部	~令和2年度	■	■	■	■	■	○河道掘削、樹木伐開を実施(留萌開発)	○継続実施(留萌開発)	
	■危機管理型ハード対策	堤防天端の保護、堤防法尻の補強	留萌開発建設部	~令和2年度	■	■	■	■	■	○裏法尻補強(藤山左岸、藤山右岸地区)を実施(留萌開発) ○堤防天端の保護(藤山左岸)を実施(留萌開発)	○継続実施(留萌開発) ○令和2年度で完了	
		住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築	留萌開発建設部	平成28年度から実施	■	■	■	■	■	■	○スマートフォン版「川の防災情報」をH28年度より供用中(留萌開発)	○供用の継続実施(留萌開発)
	旭川地方気象台		平成30年度から実施			■	■	■	■	○危険度分布における危険度の高まりをプッシュ型でスマートフォンのアプリやメールで通知するサービスを、気象庁の協力の下で民間の協力事業者が開始。(R1.7) ○台風の接近等による大雨等により顕著な災害の発生が想定される、あるいは既に発生している際に、気象庁が持つ危機感をより効果的に伝え防災行動に役立てていただくために、気象庁防災情報Twitterアカウントを新たに開設し運用開始。(R1.10) ○気象庁HPやスマートフォンにおいて、大雨の危険度と併せ、自分が住んでいる場所の危険性も同時に確認できるよう、「危険度分布」と浸水想定区域や土砂災害警戒区域等リスク情報を重ね合わせてするよう改善を実施。(R1.12)	○必要に応じて改良	
	留萌開発建設部		平成29年度から実施		■	■	■	■	■	○洪水情報のプッシュ型配信を平成29年5月1日より開始(留萌開発)	○運用の継続実施(留萌開発)	
	留萌市		平成28年度から検討実施	■	■	■	■	■	■	○引き続き配布を継続(留萌市)	○新たな情報伝達手段への変更に向けた準備(留萌市)	
	留萌開発建設部		~令和2年度	■	■	■	■	■	■	○水防拠点の整備に向けた検討を実施(留萌開発)	○水防拠点の整備に向けて準備等を継続(留萌開発)	
	留萌開発建設部、北海道		平成30年度から実施		■	■	■	■	■	○危機管理型水位計の整備(北海道)	○水位データについて引き続き公開(北海道)	
	留萌開発建設部	令和元年度から実施				■	■	■	○簡易型河川監視カメラの整備(留萌開発) ○簡易型河川監視カメラの整備(北海道)	○カメラ画像の公開(北海道)		
急激な水位 上昇に対する 円滑かつ 迅速な避難 行動のための 取り組み	■情報伝達、避難計画等に関する事項	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づき、避難経路途絶前の下流域への避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画へ反映	北海道、留萌市	~平成30年度	■	■	■	■	■	○新規転入者に配布を継続するとともに、住民周知を実施(留萌市)	○引き続き、新規転入者に配布を継続するとともに、お茶の間トークや防災講話を活用して住民への周知を実施(留萌市)	
		道路管理者との連携による、高規格道路の活用も含めた避難経路及び、避難行動の遅れに備えた高規格道路沿道施設の活用の検討	留萌開発建設部、北海道(留萌)、留萌市、消防、北海道警察、自衛隊、JR	~平成30年度	■	■	■	■	■	○随時、担当者が各関係機関防災担当者を訪問するなどして情報共有を行い、連絡体制を維持している(北海道警察) ○道路管理者との連携及びインターネットを活用して、北海道開発局『北海道地区道路情報』等により道路情報を入手(自衛隊)	○引き続き、市町村防災担当者との情報共有や連絡体制の確立を図る(北海道警察)	【完了】
		タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上	留萌開発建設部、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市、消防、北海道警察、自衛隊、JR	平成29年度から実施	■	■	■	■	■	○平成31年4月24日、洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施(留萌開発、旭川地方気象台) ○令和元年5月10日、タイムラインに基づく情報伝達訓練の実施(留萌開発、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市、消防)	○新たな情報伝達手段への変更に伴い、情報伝達訓練の実施(留萌開発、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市) ○洪水予警報等作成システムによる対向演習を実施(留萌開発、旭川地方気象台) ○引き続き、自治体等主催の防災訓練等に参加(北海道警察、自衛隊) ○継続実施(消防)	
		各地域における避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての市職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し	留萌市、消防	~令和2年度	■	■	■	■	■	○警戒レベルを用いた避難情報についての住民説明会の開催と避難訓練の実施(留萌市) ○関係機関と連携し、地域防災計画の修正及び各種マニュアルの修正・整備(留萌市) ○ヤフー株式会社との災害協定を締結し、プッシュ型防災情報配信を開始(留萌市)	○関係機関と連携し、必要に応じて修正(留萌市) ○引き続き、あらゆる手段を活用して、迅速な情報配信を実施(留萌市)	
		災害時要配慮者利用施設における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進	留萌市、消防、北海道警察、自衛隊	~令和2年度	■	■	■	■	■	○交番、駐在所勤務員への避難場所・避難経路の周知を実施(北海道警察)	○引き続き、各自治体等が主催する防災訓練に参加(北海道警察、自衛隊) ○引き続き、交番、駐在所勤務員への避難場所・避難経路の周知を実施(北海道警察)	
		分かりやすい洪水予報伝文への改良	留萌開発建設部、旭川地方気象台	平成28年度	■	■	■	■	■	○H29.4より運用(留萌開発、気象台) ○警戒レベルの追記(R1.5)(留萌開発、気象台)	○必要に応じて改良(留萌開発、気象台)	【完了】

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					R1取組内容	R2以降取組内容	取組に向けた課題
					H28	H29	H30	R1	R2			
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項		気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善	旭川地方気象台	～平成29年度	■	■	■			○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示及び大雨による浸水や洪水の危険度分布を気象庁HPで公表(地方気象台)	○必要に応じて改良(地方気象台)	【完了】
		想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	留萌開発建設部	平成28年度	■	■				○H28.7月に公表済み(留萌開建)		【完了】
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知	留萌市、JR	～平成30年度	■	■	■			○留萌市防災ガイド・マップを活用した、浸水想定区域図や土砂災害警戒区域図に基づくハザードマップの周知(留萌市) ○地域包括センターへのハザードマップの掲示(留萌市) ○留萌駅のほか、関係する無人駅4箇所の待合室にハザードマップを掲示(JR)	○引き続き、あらゆる機会を通じて住民周知を図る。(留萌市)	【完了】
		想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまことハザードマップの作成と周知	留萌市	～令和元年度	■	■	■			○関係機関と協議(留萌市)	関係機関と協議を継続実施(留萌市)	
		小学生を中心とした留萌川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施	留萌開発建設部、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市、北海道警察、自衛隊、JR	引き続き実施	■	■	■	■	■	○防災教育を継続実施(留萌開建) ○学校単位ごとの防災教育・避難訓練を実施(留萌市)	○引き続き、1日防災学校の推奨や防災教育・避難訓練の場を通じて、防災意識啓発活動の継続実施するなど、水防災意識啓発のための活動を実施(留萌開建、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市) ○引き続き、小学校において防災講話等を実施(北海道警察) ○自治体等が開催する水災害避難訓練や防災教育・講習会等への支援・参加(自衛隊) ○関係機関と連携し、必要に応じて実施(気象台)	
		関係機関の職員及び住民を対象とした水防災に関する講習会の開催	留萌開発建設部、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市、北海道警察、自衛隊、JR	平成29年度から実施	■	■	■	■	■	○令和元年7月17日、水防技術講習会を実施・参加(留萌開建、北海道(留萌)、留萌市、消防) ○令和元年5月28日、留萌管内防災行政ネットワーク第1回連絡会議にて気象防災に係る情報提供実施。(気象台) ○令和元年7月17日、北海道地区水防技術講習会にて気象に関する講演実施。(気象台) ○令和元年9月2日に留萌管内市町村防災担当職員を対象に中小河川の氾濫を想定したワークショップを実施。(気象台、留萌市、北海道) ○令和元年11月28日留萌開発建設部水門等水位観測員会議にて気象に関する講演実施。(気象台) ○令和2年2月12日・13日、開発建設部と留萌川流域町内会との防災意見交換会を実施(留萌市・留萌開発建設部)	○継続実施(留萌開建) ○引き続き、自治体主催の防災訓練等に参加(北海道警察) ○自治体等が開催する水災害避難訓練や防災教育・講習会等への支援・参加(自衛隊) ○引き続き実施(気象台) ○お茶の間トークを活用した、住民との意見交換会を積極的に開催(留萌市)	
社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取り組み	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	コミュニティFM放送やホームページ等を活用した、住民の水防災意識啓発のための広報の充実	留萌開発建設部、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市、北海道警察	引き続き実施	■	■	■	■	○新たな浸水想定区域図や水ビジョンに基づく取組状況等をHPにより公表(留萌開建) ○各交番、駐在所作成のミニ広報紙により、地域住民全体に広報を実施(北海道警察) ○各種イベント時に街頭啓発を実施(北海道警察) ○コミュニティFMで定期的(月2回)に気象防災の普及啓発を実施(気象台) ○留萌市発行、広報誌への防災意識を啓発する記事を掲載(留萌市)	○継続実施(留萌開建) ○引き続き、ミニ広報紙や各種イベント時における街頭啓発を実施(北海道警察) ○引き続き実施(気象台) ○コミュニティFMでの普及啓発を引き続き実施(留萌開発建設部) ○引き続き、広報誌への記事掲載により、住民意識の向上を図る(留萌市)		
		毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	留萌開発建設部、北海道(留萌)、留萌市、北海道警察、自衛隊、JR	引き続き実施	■	■	■	■	■	○重要水防箇所を見直し、関係機関等に周知している。(留萌開発建設部) ○重要水防箇所の見直し(北海道) ○令和元年6月26日、関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施(留萌開建、北海道(留萌)、留萌市) ○災害危険箇所の見直しを含めた災害警備計画の更新、職員への周知を実施(北海道警察) ○重要水防箇所の見直し状況及び共同点検の成果を確認(自衛隊)	○継続実施(留萌開建、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市) ○必要に応じて重要水防箇所の見直しを行っていく(留萌開建、北海道) ○引き続き、関係機関と連携し、重要水防危険箇所の周知徹底を図る(北海道警察) ○引き続き、重要水防箇所の見直し状況及び共同点検の成果を確認(自衛隊) ○関係機関と合同で重要水防箇所の点検を実施(北海道(留萌))	
		関係機関が連携した急激な水位上昇を想定した水防訓練を継続実施	留萌開発建設部、北海道(留萌)、留萌市、消防、北海道警察、自衛隊、JR	引き続き実施	■	■	■	■	■	○令和元年7月17日、水防技術講習会を実施(留萌開建、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市、消防) ○各自治体等が実施する防災訓練等に参加(自衛隊)	○継続実施(留萌開建、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市) ○引き続き、自治体主催の防災訓練等に参加(北海道警察) ○引き続き、防災訓練等に参加する(消防)	
		迅速な水防活動を支援するため、中上流部における一時的な保管方法を検討の上、水防資機材を充実	留萌開発建設部、北海道(留萌)、留萌市、自衛隊	平成28年度から実施	■	■	■	■	■	○水防資機材の確保状況を関係機関へ提供し、情報を共有(留萌開建、北海道(留萌)、留萌市) ○災害派遣資機材等の充実(自衛隊)	○水防資機材の確保と情報共有について継続実施(留萌開建、北海道(留萌)、留萌市、自衛隊)	
		的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る	留萌市、消防	平成28年度から実施	■	■	■	■	■	○公共施設等利用し周知を図る(留萌市)	引き続き、公共施設等利用し周知を図る(留萌市)	

大項目	中項目	小項目	取組機関	目標時期	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					R1取組内容	R2以降取組内容	取組に向けた課題	
					H28	H29	H30	R1	R2				
		自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認	留萌開発建設部、北海道(留萌)、留萌市、自衛隊	引き続き実施	■	■	■	■	■	■	○留萌川減災対策協議会等において災害派遣要請に係る調整方法についての確認を継続実施(留萌市) ○令和元年5月に留萌管内防災行政ネットワーク第1回連絡会議にて災害派遣要請の手続きを確認(北海道(留萌))	○自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法についての確認を継続実施(北海道(留萌)、留萌市) ○防災訓練時等に確認(北海道(留萌))	
	■拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項	浸水想定区域内の拠点施設(警察、病院等)に対し水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進	留萌市、消防	平成28年度から実施	■	■	■	■	■	■	防災ガイドマップ等配布し情報共有を図る(留萌市)	防災ガイドマップ等配布し情報共有を図る(留萌市)	
社会経済活動の早期復旧のための氾濫水の排水、施設運用等に関する取組み	■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組み	想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成	留萌開発建設部、北海道(留萌)、留萌市、北海道警察、自衛隊	~平成30年度	■	■	■	■	■	■	○随時、担当者が各関係機関防災担当者を訪問するなどして情報共有を行い、連絡体制を維持している(北海道警察) ○各自治体等の作成した排水計画を確認(自衛隊)	○引き続き、市町村防災担当者との情報共有や連絡体制の確立を図る(北海道警察) ○引き続き、各自治体等の作成した排水計画を確認(自衛隊)	
		訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認	留萌開発建設部、北海道(留萌)、留萌市、消防	平成28年度から実施	■	■	■	■	■	■	○平成31年4月23日、水防連絡協議会において災害対策機械の出動要請に必要な事項を説明(留萌開建) ○水防連絡協議会に参加(旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市、消防)	○継続実施(留萌開建、旭川地方気象台、北海道(留萌)、留萌市) ○引き続き、防災訓練等に参加する(消防)	